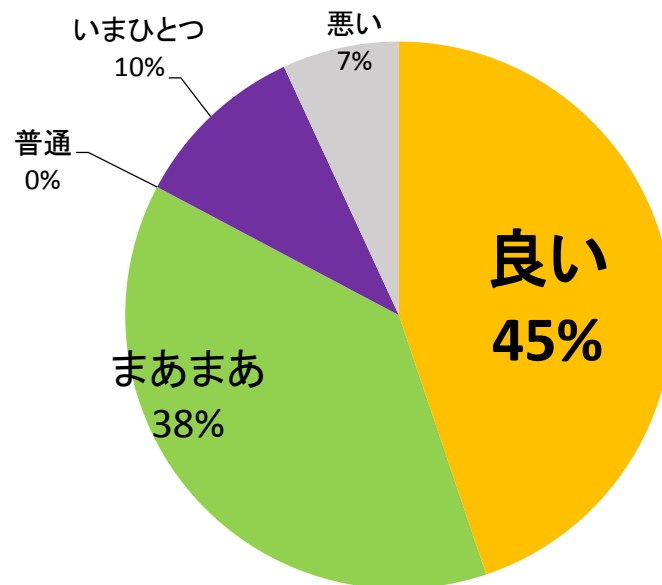


第 234 回 J. I. フォーラム アンケート
「原発」を通して私たちの生き方、社会を考え直す

フォーラム参加者： 59 名
アンケート回答者： 29 名
回 答 率： 49.2%

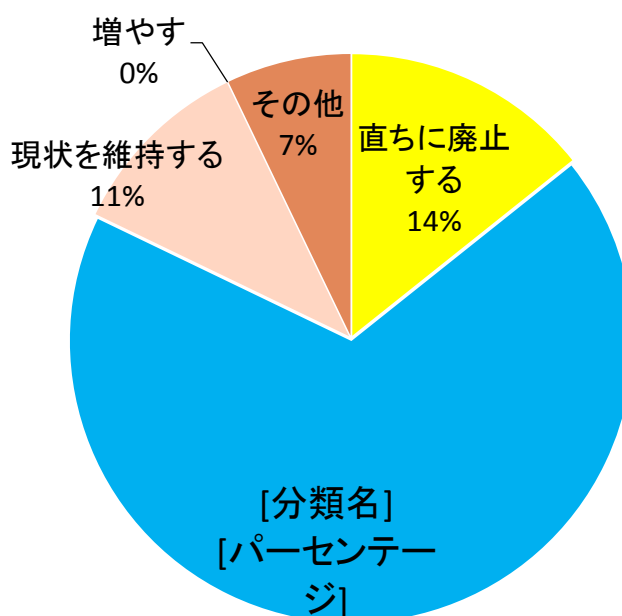
●本日のテーマ、内容、進め方はいかがでしたか。



主な意見	<ul style="list-style-type: none">・ 神里先生のリスク社会、専門家と社会の関わり、齊藤先生の個と公、成熟社会というお話が興味深かったです。・ 3 人の先生の会話、一般人の代表（識者）としての弁であり、識者の本音（良心）を感じた局面がありました。 救いは「誰かが（すみませんでした）の言葉から」事後処理を始めていれば、状況は変わっていたかもしれない、との弁でした。 「1F の爆発の事実」を受けての市民の「本来あるべき姿」という話と、「私ならこうした……」という話をもう少し聞きたかったと思います。・ 3 人の専門家の話が良く頭に入りました。やはり子供の時からの教育から始めないと、自ら責任を考えることはできないと思います。神里先生の話が興味深かったですし、齊藤先生の「巨大技術の失敗を受け止める……」というのハッとさせられる視点でした。・ 加藤さんの質問のおかげで具体的な像が見えました。それを前提に、鈴木さんが具体的な数字を出しながら話して下さったのが良かったです。神里さんの「リスク社会」、身にしみます。どうすればよいのでしょうか……。共栄共存の視点から「福島に対する東京の役割」という話はとても参考になりました。
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までは「闘争」で対応しようと思っていましたが、「共闘」の可能性を感じました。 ・ 加藤代表の言われる「自分が主体」の大事さを再認識しました。 ・ 加藤先生が難しい言葉の解説を求めてくれましたが、まだ難しい言葉が多く、理解が十分に追いつきませんでした。 ・ 全体的に考えさせられる視点が多々ありました。「材料」を確かに、たくさんいただきました。タイムリーだし、重要なテーマです。日本の国民全員に関わることです。
--	--

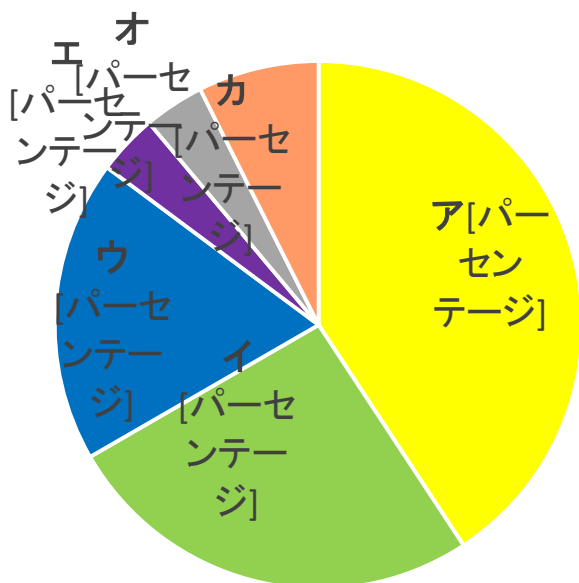
●今後、原発エネルギーをどうしていくのがいいとお考えですか。（議論を聞いて）



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 減らすスピードは必要と思います。 ・ 原発リスクは減らすべきだが、エネルギーミックスの転換は難しいし、炭素の問題もあります。徐々に減らすしかないと思います。 ・ 廃止を明言した上で徐々に減らしていくのがいいと思います。 ・ できるだけ早く、漸減させていくべきです。 ・ できるだけ早く廃止していくべきと考えます。サステナブルな装置ではないし、ゴミの処理方策が確立されていないと思うからです。 ・ トリチウムの話に関しても、専門家は声をあげるべきだと感じます。個人的には今からでも徐々に放出していくべきと考えます。話には出ませんが、除染についても無用の負担はせず、特別管理地域として立入禁止にすべき。悪者になるのをいとうべきではありません。 ・ 原発への「依存度を減らす」ことはもちろん、政府への「依存度も減らす」ことが必要であると考えます ・ 実際には「徐々に」で良いと思うのですが、日本の社会は「安易に流れる」
------	---

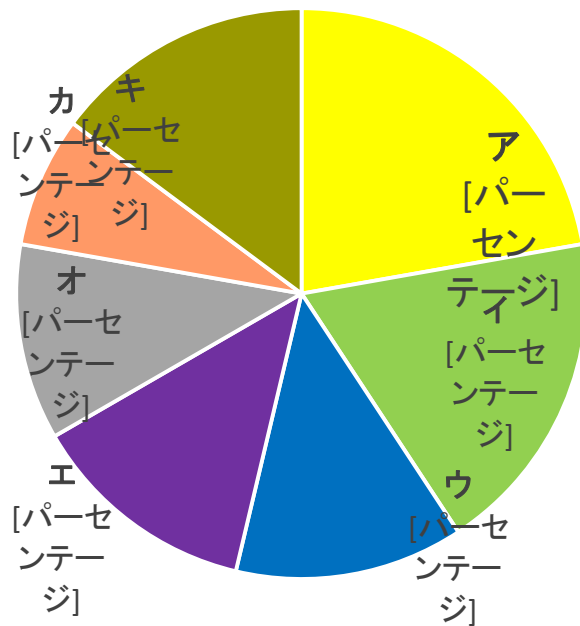
	<p>社会と感じますので、一旦原発を使い出すと、将来必ずやってくる低炭素社会（限界費用ゼロ社会）への舵を切れないと思うのです。第2に、今政府が説明している「安全」は技術的なことへの視点しかなく、信用がおけるものではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原発事故を経験した社会として、減らしていくことは自然なことだと考えます。 ・ 福島第一原発の事故が起こってしまった以上、地震大国のわが国では、原発を存続することはありえないと考えております。 ・ 放射性廃棄物処理を含め、原発はコストが高いです。但し、既存の原発は誘致コストなどを支払い済です。従って、既存原発は新しい基準で見直せば30年（40年）までは稼働することになります。しかし新設はダメです。コストも高くなります。 ・ 依存度を下げることが重要です。
--	---

●原発を稼働する、あるいは廃止するなどの検討にあたり、最も優先すべき点は何だと思いますか。



<p>主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国民の気持ちとして、エネルギーの自己供給にこだわりすぎるべきではなく、電力の輸出入も考えるべきだと考えます。 ・ 東電あるいは他の電力会社にまかせても安全な再稼働はできないと思います。現在の Energy Mix（長期エネルギー計画）は見直す必要があります。 ②このままではパリ協定は遵守できません。
-------------	--

- 原発を含め、エネルギーの問題を考えるうえで不十分なのは何だと思えますか。
(複数回答可)



<p>主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間で開発が進んでいると言われているいろいろなエネルギーを柔軟に採用、そしてそれを検討する姿勢が必要です。 ・ リスクの考え方の理解を深めていくこと、リスクエデュケーションが重要です。 ・ 民間の信頼できる情報提供（客観的な情報）がほしいです。 ・ 安全と安心の区分けをはっきりとするのが必要ではないでしょうか。 安全：ハート、制度、仕組み⇒作る側の権限・責任 安心：心の問題（安全をベースに受益側の反応） ・ タイトル（原発を通して生き方、社会を考え直す）は、エネルギー問題だけではありませんが、フロアからの質問がエネルギーに偏っているのではないかと感じました。 ・ 代替エネルギーや、省エネのためのブレークスルーな科学技術が必要です。 ・ やるべきことは出ています。政治家は、逃げずに対応してほしいです。 現実には、太陽光発電コストは劇的に下がっており、その利益は一部業者に取り込まれています。電力の利用者に還元する仕組みに直すべきだと思います。 ・ 2050年頃の限界費用ゼロ社会を見据えた議論ができていないことが心配です。原発をどうするか？という議論から、賛成/反対どちらも抜け出せていないように思います（最後に鈴木先生がおっしゃったバックキャストで）。 ・ 依存しきる国民性なのではないでしょうか。次世代の困る負担をどうすれば減らせるのかを、かなり真剣に考えております。原発、経済、医療などの課題を解決するためには、「個人」の責任という自覚をどうすれば持てるのかという世論形成も大切です。
-------------	---

- ア. 安全の確保
- イ. 再生可能エネルギーなど代替エネルギーの確保
- ウ. エネルギーの確保
- エ. 電力料金、財政負担などの費用
- オ. 地元住民の合意
- カ. その他

- ア. 政府、行政による情報提供
- イ. 各種エネルギーごとのリスク比較（環境汚染なども含む）
- ウ. エネルギー関連企業による情報提供
- エ. 各種エネルギーごとのコスト、効率比較
- オ. 専門家の解説
- カ. 生産、消費、交通など私たちの活動とエネルギー量との関係
- キ. その他